【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成29年4月13日(2017.4.13)

【公開番号】特開2015-37838(P2015-37838A)
【公開日】平成27年2月26日(2015.2.26)
【年通号数】公開・登録公報2015-013
【出願番号】特願2013-169304(P2013-169304)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　2/045　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/055　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　3/04　１０３Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成29年3月10日(2017.3.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
しかしながら、各列毎に形成した共通電極が、同一ヘッドチップ内で、端部同士が接続されている構成では、インク滴を吐出するノズル開口が増加することにより波形成形を行なう回路に流れる電流量が増加した場合には特に、図６に示す駆動信号ＳにオーバーシュートＯＳを生起したり、鈍りを生起する場合がある。この場合には、駆動信号Ｓの波形成形精度が劣化するという問題がある。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
また、各列の流路の端部を接続して各列から同色のインク滴を吐出するように構成した場合にも、同様の問題が発生する。さらに、この場合には、各列間でクロストークを発生することがある。